

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況（17年4月～18年3月、17年10月～18年3月）

福井銀行では、「事業再生・中小企業金融の円滑化」・「経営力の強化」・「地域の利用者の利便性向上」の各項目に対し、より質の高い間柄と、お互いがより大きな満足ができる関係を構築し、「地域のお客さまを大切にす」ための各種施策に積極的に取り組んでおります。

「地域密着型金融推進計画」の平成18年3月末までの進捗状況及び評価については、次のとおりとなっております。

1. 「事業再生・中小企業金融の円滑化」への取り組み

◎Face to Faceによる信頼関係の追求

営業強化による地域のお客さまとの「質の高いリレーション」を長期間にわたって築き上げていくことにより、「最適な解決方法をご提案」し、更に絆を強めることが可能となります。お客さまと「もっともっとお話を深める」ための取り組みは次のとおりです。

<行内態勢整備等の進捗状況>

項目	計画	17年10月～18年3月の進捗状況	<ご参考>1年間の進捗状況
人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 渉外担当者のリレーション機会の最大化、営業強化の環境整備として女性融資事務担当者の早期育成（合計50名を育成） ・ 実践で活用できる「目利き」能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 財務・格付等の研修を延べ70名に対して実施。 ・ 融資事務担当者50名計画に対し44名を指名。また、融資事務担当者から融資渉外へ2名がシフト。 ・ 「目利き」研修等講座派遣の他、行内研修にて「企業調査講習会」実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店の女性融資事務担当者44名を指名。担当者経験・レベル毎のインターバル研修実施等により中級レベルにまで到達。 ・ 融資事務担当者より融資渉外担当者へ2名シフト。18年4月より7名予定。 ・ 「目利き」研修、経営支援・再生講座、異業種・現場講座等に積極的に派遣。
顧客への説明態勢の整備、相談・苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資説明手続の円滑化 ・ 苦情情報のシステム集約化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当座勘定貸越約定書の「説明のしおり」制定 ・ 苦情事例をもとにした集合研修の実施 ・ 「苦情処理委員会」の実施と苦情事例の開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 融資関連規定・書式等の改定 ・ 業務改善、CS向上を図るため、苦情情報のシステム集約化を実施（苦情処理委員会の設置、苦情事例の通達での全部署への開示）

< 機会の提供の進捗状況 >

項目	計画	17年10月～18年3月の進捗状況	<ご参考> 1年間の進捗状況
<p>地域中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北國銀行、富山第一銀行との連携による北陸3県広域によるビジネス商談会開催と商談設定による販路拡大等支援 日本政策投資銀行及び外部専門家との連携によるM&A機能活用でのビジネスマッチング支援 	<ul style="list-style-type: none"> 北國銀行・富山第一銀行との3行提携によるFITネットビジネス商談会開催(11月29日) <p><結果></p> <p>ブース出展 226社 (当行紹介 65社)</p> <p>商談参加 274社 (同 82社)</p> <p>来場者 3,285人</p> <p>商談数 1,789件</p> <p>成約約 300件</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北國銀行・富山第一銀行との3行提携によるFITネットビジネス商談会実施 <p><結果></p> <p>ブース出展 226社 (当行紹介 65社)</p> <p>商談参加 274社 (同 82社)</p> <p>来場者 3,825人</p> <p>商談数 1,789件</p> <p>成約約 300件</p> <ul style="list-style-type: none"> M&A行内LAN情報発信 14件 仲介専門会社との共同案件における買収案件アドバイザリー契約 1件
<p>担保・保証に過度に依存しない融資の推進等</p>	<ul style="list-style-type: none"> コベナンツ(財務制限条項)型融資商品の取扱条件変更による対象企業、推進機会の拡大 「スーパーNBL」の商品性拡充と推進 売掛債権一括信託等による資金調達方法の多様化 	<ul style="list-style-type: none"> コベナンツ(財務制限条項)型融資の取組実績 <p>期中取組 24件 1,042百万円</p> <p>H18/3末残 2,102百万円</p> <p>(前年+1,083百万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スーパーNBL」の取組実績 <p>期中取組 95件 793百万円</p> <p>H18/3末残 1,623百万円</p> <p>(前年+1,147百万円)</p>	<ul style="list-style-type: none"> コベナンツ(財務制限条項)型融資の取組実績 <p>期中取組 37件 1,857百万円</p> <p>H18/3末残 2,102百万円</p> <p>(前年+1,083百万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スーパーNBL」の取組実績 <p>期中取組 173件 1,380百万円</p> <p>H18/3末残 1,623百万円</p> <p>(前年+1,147百万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「売掛債権一括信託」の導入実績 <p>福井県内1社、石川県内1社に導入</p> <p>(参加予想先数約600先)</p> <p>候補支払企業5社に提案説明実施</p>

◎与信（融資）態勢の高度化による健全性の追求

長期的な取引関係により得られた質の高い間柄を活用し、ご融資先のお客さまの経営状況等を的確に把握することが出来る与信態勢を構築し、経営改善支援の早期着手に取り組む等、融資資産の更なる健全性の追求に取り組んでおります。「もっともっとお客さまのことをよく知る」取り組みは次のとおりです。

項目	計画	17年10月～18年3月の進捗状況	＜ご参考＞1年間の進捗状況
融資審査態勢の強化等	<ul style="list-style-type: none"> 地銀協モデル「CRITS」活用による企業格付制度の高度化 与信中間モニタリングによる審査態勢強化 	<ul style="list-style-type: none"> ランクアップ進捗管理先に対する中間モニタリング実施 業種別審査能力向上のため行外研修参加 営業店向け各種レポート「SHINSA-NEWS」を継続発行 	<ul style="list-style-type: none"> CRITSモデル格付制度構築のため外部コンサルと契約。現状分析およびデータ調整実施。18年上期より格付制度改定予定。 営業店向けに業種別動向等の各種レポート「SHINSA-NEWS」を継続発行
要注意先債権等の健全債権化等に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング対象予定のお客さま150社に対し、経営改善支援の早期着手により30社以上のランクアップを推進 	<ul style="list-style-type: none"> 当初リスト150先に上期ランクダウン先8先加え、計158先をモニタリング先に選定 ＜進捗状況＞ ランクアップ13先 要注意先 → 正常先11先 要管理先 → 要注意先1先 要管理先 → 正常先1社 	<ul style="list-style-type: none"> モニタリング対象先158先に対するランクアップ24先 ＜進捗状況＞ 要注意先 → 正常先21先、 要管理先 → 要注意先2先 要管理先 → 正常先1先 ※目標30先に対する進捗率80%
事業再生に向けた積極的取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業再生支援協議会との連携 多様な手法を活用した事業再生の取り組みを検討 	<ul style="list-style-type: none"> 福井県中小企業再生支援協議会案件について、3件を2次案件として完了 北國、富山第一銀行との情報交換、他金融期間の再生取組の状況を参考に、「DDS」を活用しての事業再生についての検討は行ったものの実現には至らず。 	<ul style="list-style-type: none"> 福井県中小企業再生支援協議会の2次案件対応案件として5件申請し改善計画策定まで完了 「DDS」等を活用しての事業再生について、可能性のある先についての検討に着手したが実現には至らず。

2. 「経営力の強化」への取組み

◎組織力の強化による「地域密着型金融」の土台づくり

法令等遵守（コンプライアンス）の徹底、各種リスク管理態勢、収益管理態勢の充実等による組織力の強化を実施し、「地域密着型金融」の土台づくりに取組んでおります。「あらゆる状況に対応可能な組織力」を高める取組みは次のとおりです。

項目	計画	17年10月～18年3月の進捗状況	<ご参考>1年間の進捗状況
リスク管理態勢の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地銀協モデル「CRITS」活用による企業格付制度の高度化 新BIS規制の「標準的手法」に向けた組織的取組み オペリスク管理体制の構築に向けたデータ整備とロードマップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> 新格付システムの第二フェーズでの適合性検証 外部コンサルとの共同で、バーゼルⅡの最低要件とのギャップ分析実施 オペリスク管理への対応を図るため、取組方針・ロードマップ作成等を目的としたワーキンググループ組成 	<ul style="list-style-type: none"> 新格付に関する外部コンサルとの共同作業終了。バーゼルⅡの最低要件とのギャップ分析を経て、信用格付に関する規定・基準書制定。18年上期導入予定。 「標準的手法」「基礎的内部格付手法」によるリスクアセット算出を目的にワークショップ開始。 オペリスク管理対応のため、取組方針作成等を目的としたワーキンググループ組成。
ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> 財務報告の適正性の確保に向けた内部管理体制の整備を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 決算業務プロセスの文書（初版）完成により、レベル調整及び文書統一フォームの細部見直し実施 文書のシステム登録作業実施 財務報告資料等の作成プロセスに関する内部分掌規定策定 	<ul style="list-style-type: none"> 決算業務プロセスの文書化スケジュールを決定し統一フォームを決定。 文書（初版）の完成受け、文書統一フォームの細部見直し実施。文書のシステム登録作業実施。 財務報告資料等の作成プロセスに関する内部分掌規定策定
適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> 各種情報管理事項の討議及び対策立案 技術的安全管理措置に係る各システム等のレベルアップ 各種研修等実施による行内周知と内部監査を通じた不備事項の分析・改善 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護対策委員会の開催 3回 情報管理ワーキンググループの開催 FAX取扱ルール、郵便持出ルールについて対応協議 インターネット専用ネットワーク整備 インターネット利用者の制限 分散系システムレベルアップ実施 ネットワークの収容替え等 	<ul style="list-style-type: none"> 情報管理に関する委員会・ワーキンググループを開催し、「文書管理方法」「FAX送信ルール」「情報持出ルール」等について、検討・対応を実施 情報セキュリティロードマップ策定

3. 「地域の利用者の利便性向上」への取組み

◎積極的な情報提供等による地域の利用者の利便性向上と信認の確保

地域のお客さまの利便性向上を図るとともに、透明性の高い情報提供を充実させることにより「もっともっと福井銀行のことはお伝えする」取組みは次のとおりです。

項目	計画	17年10月～18年3月の進捗状況	<ご参考> 1年間の進捗状況
地域の利用者の利便性向上	・利用者満足度アンケートの実施	・18年度上期アンケート項目の内検討と実施スケジュールの決定 ・アンケート結果の行内情宣とCS向上に向けての周知徹底	・北陸三県の当行のお客さま2,000名に対する顧客満足度アンケートを実施し、929件(46.5%)の回答実績 ・アンケート結果の行内情宣とCS向上に向けての周知徹底